

HTB制作のドキュメンタリー

TOYAから明日へ！

とけてゆくスイス～氷河×光×地球の未来～
映文連アワード 2016 優秀企画賞 受賞

北海道テレビ放送（HTB）が地球温暖化による氷河融解の現状を伝えるだけでなく、それを食い止めるための最新の研究と究極のテクノロジーの数々を、圧倒的な映像美とともにお茶の間に届けたドキュメンタリー「**TOYA から明日へ！とけてゆくスイス～氷河×光×地球の未来～**」が、映像のプロフェッショナルが選ぶ映文連アワード 2016 の優秀企画賞に選ばれました。

今回の受賞について、プロデューサーの濱中貴満は、「映文連アワードといえば「プロフェッショナルが選ぶ、プロフェッショナルの仕事にふさわしい作品」に贈られるもので、短編の映画やCMなど芸術性の高い作品が選ばれる賞という認識をしておりました。その賞に『とけてゆくスイス 氷河×光×地球の未来』が選ばれたことは、企画・撮影・編集など総合的な作品として認められたということで本当に嬉しい限りです。今後もHTBの名の下にクオリティの高い作品を制作していきたいと決意を新たにしております」と話しています。

【受賞番組】 TOYA から明日へ！ とけてゆくスイス～氷河×光×地球の未来～

【放送日時】 2016年6月29日(水) 23:00～23:59 (BS朝日)

【スタッフ】 ナレーション：山根基世 撮影：石田優行 ディレクター：及川桂司
プロデューサー：濱中貴満 エグゼクティブプロデューサー：寺内達郎

【番組内容】

HTBは開局40周年にあたる2008年に洞爺湖で開催されたG8サミットで採択された脱温暖化宣言を機に、地域メディアとして地球環境を考える「TOYAから明日へ！」キャンペーンを行っています。北海道大学低温科学研究所の杉山慎研究室と共同で過去グリーンランド、パタゴニアの氷河を撮影しその現状を取材・環境特別番組として放送してきました。シリーズ第3弾となる「とけてゆくスイス～氷河×光×地球の未来～」では、地球温暖化の影響を受けて予想を超える速さで融解し、縮小し続けるスイスアルプスの氷河に密着。次世代映像技術である4Kカメラ、また空撮ドローンを駆使して収めた映像で、地球のあるべき未来の姿を考えるサイエンス・ドキュメンタリーに仕上げました。

映文連アワードとは、主として非劇場系の映像製作会社（プロダクション）で組織された映像文化製作者連盟が主催する短編映像祭。プロフェッショナルの仕事にふさわしい作品を積極的に発掘・顕彰することによって短編映像業界の活性化を図るとともに、次世代を担う新しい才能（学生・個人）を発掘し、映像業界のインキュベータ（育成装置）としての機能を担うことを目的として、2007年に創設されました。